



# 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 テイカ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4027 URL <https://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 出井 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 中務 康介

TEL 06-6943-6401

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,098	△2.4	1,402	△48.9	1,655	△46.4	1,127	△47.9
2023年3月期第2四半期	27,767	26.0	2,746	41.4	3,090	44.9	2,165	34.1

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 3,094百万円 (12.7%) 2023年3月期第2四半期 2,744百万円 (61.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	48.65	—
2023年3月期第2四半期	93.44	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	78,701	56,342	71.0	2,409.79
2023年3月期	75,717	53,658	70.3	2,296.45

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 55,857百万円 2023年3月期 53,219百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2024年3月期	—	18.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	2.2	2,400	△43.2	2,700	△42.8	1,700	△43.1	73.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	25,714,414 株	2023年3月期	25,714,414 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,535,083 株	2023年3月期	2,539,651 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	23,176,164 株	2023年3月期2Q	23,175,089 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行されたことに伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等に起因する原燃料価格の高止まり、中国経済の下振れ懸念や世界的な金融引き締めの影響等、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「MOVING-10 STAGE1」に沿って、「変革による拡大」と「新素材の創出」に注力するとともに、製造原価の低減、業務効率の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、国内化粧品向け機能性微粒子製品の販売が回復したものの、原燃料価格の高止まりによるコスト上昇に加えて、導電性高分子薬剤の販売が低調であったこと等により、売上高は270億9千8百万円（前年同期比2.4%減）となりました。営業利益は14億2百万円（前年同期比48.9%減）、経常利益は16億5千5百万円（前年同期比46.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億2千7百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の10ページ「セグメント情報」をご参照ください）

#### 機能性材料事業

汎用用途の酸化チタンは、国内外の需要が低調に推移したことにより、販売数量は前期を下回りました。

機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品の販売は、新型コロナウイルス感染症の各種行動制限の解除に伴い国内化粧品向けが回復したことにより、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は139億5百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

#### 電子材料・化成品事業

界面活性剤は、海外連結子会社の販売は堅調に推移したものの、日用品の洗剤用途向けの販売が低調に推移したことにより、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

導電性高分子薬剤は、パソコン、スマホ等のICT機器関連の販売が低調に推移したことにより、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

無公害防錆顔料は、国内向けは前期並みに推移しましたが、海外向けの販売が低調であったため、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

圧電材料は、海外連結子会社は好調に推移したものの、医療機器用の海外顧客の在庫調整があったため、売上高は前期を若干下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は125億8千万円（前年同期比7.8%減）となりました。

#### その他

倉庫業は、主要顧客の取扱量が減少したことにより、売上高は前期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は6億1千1百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、787億1百万円（前連結会計年度末比29億8千3百万円増加）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が12億5千3百万円、投資有価証券が22億1千8百万円、それぞれ増加し、現金及び預金が7億1千4百万円減少したことによります。

負債合計は、223億5千8百万円（前連結会計年度末比2億9千9百万円増加）となりました。これは主に、短期借入金が26億4千3百万円増加し、支払手形及び買掛金が12億9千1百万円、長期借入金が10億1千6百万円、それぞれ減少したことによります。

純資産合計は、563億4千2百万円（前連結会計年度末比26億8千3百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が7億1千万円、その他有価証券評価差額金が15億3千7百万円、それぞれ増加したことによります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが、1億2千4百万円の収入（前年同期比13億1千4百万円収入額の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益16億3百万円、仕入債務の減少による支出15億7千4百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、20億9千9百万円の支出（前年同期比4億7千5百万円支出額の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出16億8千4百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億8千3百万円の収入（前年同期は13億3千3百万円の支出）となりました。主な要因は、短期借入金純増加額24億4千3百万円、長期借入金の返済による支出9億7千5百万円、配当金の支払額4億1千6百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より7億1千4百万円減少し、108億6千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月1日に公表いたしました業績予想から変更はありません。今後の状況を注視し、見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,661	10,946
受取手形及び売掛金	14,792	16,046
電子記録債権	358	466
商品及び製品	11,015	10,978
仕掛品	1,837	1,881
原材料及び貯蔵品	6,344	6,668
その他	624	238
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	46,631	47,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,580	6,938
機械装置及び運搬具（純額）	7,088	6,601
その他（純額）	3,291	3,451
有形固定資産合計	16,960	16,991
無形固定資産		
のれん	1,407	1,383
その他	119	136
無形固定資産合計	1,526	1,520
投資その他の資産		
投資有価証券	9,279	11,497
その他	1,338	1,486
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	10,597	12,964
固定資産合計	29,085	31,476
資産合計	75,717	78,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,627	5,335
短期借入金	3,050	5,694
未払法人税等	688	424
賞与引当金	386	388
その他	3,475	3,017
流動負債合計	14,228	14,859
固定負債		
長期借入金	3,805	2,788
退職給付に係る負債	3,144	3,092
その他	879	1,617
固定負債合計	7,829	7,499
負債合計	22,058	22,358
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,769
利益剰余金	33,714	34,425
自己株式	△2,460	△2,456
株主資本合計	47,876	48,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,554	6,091
繰延ヘッジ損益	20	—
為替換算調整勘定	716	1,112
退職給付に係る調整累計額	51	59
その他の包括利益累計額合計	5,342	7,263
非支配株主持分	438	485
純資産合計	53,658	56,342
負債純資産合計	75,717	78,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	27,767	27,098
売上原価	21,897	22,443
売上総利益	5,870	4,654
販売費及び一般管理費	3,124	3,251
営業利益	2,746	1,402
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	121	134
為替差益	166	133
その他	82	38
営業外収益合計	374	313
営業外費用		
支払利息	20	40
棚卸資産廃棄損	8	13
その他	1	6
営業外費用合計	30	60
経常利益	3,090	1,655
特別損失		
固定資産除却損	26	52
特別損失合計	26	52
税金等調整前四半期純利益	3,063	1,603
法人税、住民税及び事業税	886	388
法人税等調整額	△11	65
法人税等合計	875	454
四半期純利益	2,188	1,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,165	1,127



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,188	1,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	1,537
繰延ヘッジ損益	△79	△20
為替換算調整勘定	779	420
退職給付に係る調整額	11	7
その他の包括利益合計	556	1,945
四半期包括利益	2,744	3,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,679	3,048
非支配株主に係る四半期包括利益	64	46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,063	1,603
減価償却費	1,507	1,384
のれん償却額	144	153
受取利息及び受取配当金	△125	△142
支払利息	20	40
売上債権の増減額 (△は増加)	△914	△1,034
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,144	△201
仕入債務の増減額 (△は減少)	△742	△1,574
その他	266	436
小計	2,076	665
利息及び配当金の受取額	125	142
利息の支払額	△20	△40
法人税等の支払額	△742	△642
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,438	124
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,264	△1,684
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△356	△411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,624	△2,099
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	62	2,443
長期借入金の返済による支出	△980	△975
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△415	△416
その他	△0	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,333	1,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	208	177
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,311	△714
現金及び現金同等物の期首残高	12,981	11,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,670	10,867

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	13,414	13,649	27,063	704	—	27,767
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	655	(655)	—
計	13,414	13,649	27,063	1,359	(655)	27,767
セグメント利益	1,474	1,114	2,588	150	7	2,746

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	13,905	12,580	26,486	611	—	27,098
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	646	(646)	—
計	13,905	12,580	26,486	1,257	(646)	27,098
セグメント利益	412	869	1,281	118	2	1,402

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。